

公表日

2026年2月14日

事業所名

北上上野町校

利用児童数

31

回収数:

31

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	6	1	1	活動スペースは十分だと思いますが、駐車場がちょっととめづらいかと思います。座学からちょっとした運動までできるスペースが確保されています。不満とかではないですが、もう少し広いといいかなと思います。駐車場が狭くて大変です。	駐車場に関しまして、区画等整備し改善を考慮していきたいと思っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	0	0	1	個別なので1人に対して1人の先生がつきます。利用後の保護者と担当の先生との報告の間は他の先生が子供の対応をしてくれます。	ありがとうございます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすい構造化された環境(※ 1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	5	0	1	子供は戸惑うことなく利用できているのでわかりやすくなっていると思います。整頓されて子供がわかりやすく、集中して取り組めるようになっていると思います。	ありがとうございます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	1	0	1	ちゃんと管理して清潔な空間にされています。	ありがとうございます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	1	0	1	前回利用した時の細かな変化にも気がついて、次の利用の際に対応してくださっています。子供がそれぞれ楽しんで少しずつステップアップしていけるようにしてもらっている。親よりも子供のことを理解してくれてありがたいと思っています。きちんと、子供の気持ちによりそいながら、しっかりと支援していただき、ありがたいです。	ありがとうございます。
	6	事業所が公表している支援プログラム(※ 2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	0	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	30	0	0	1	面談や日々の会話から、子供の目標を検討し支援計画を作成されていると思います。よく子供のことをみてもらっているな、と感じる内容の計画をいつも立ててもらっています。	ありがとうございます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	0	0	1	支援計画の項目も細かく設定され、説明もしていただきました。	ありがとうございます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	1	0	1	支援計画に沿った支援とともに、都度変わっていく子供の特性などにあわせて対応してくれています。	ありがとうございます。
	10	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	2	0	0	毎回本当にバリエーションとんだ支援内容で、家庭でも参考にさせていただいています。同じ支援の内容でも少しずつ変えてくれるので新鮮に感じます。先生ごとに違ったアプローチもしていただいている。ただ、先生間の情報共有も増やしていただけたらと思うこともある。	ありがとうございます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	6	3	9	他の地域や場所の子供と交流することはありませんが、先生が幼稚園に向かい子供の様子を見学しに行ってくれました。	ありがとうございます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	0	0	0	利用開始時に丁寧な説明がありました。	ありがとうございます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	0	0	1	作成していただいた支援計画と一緒に見ながら1つ1つ説明がありました。	ありがとうございます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	4	0	4	ペアトレなどはないですが、個別相談ができるのでその際に困ったときの対応の仕方などを教えていただいています。	ありがとうございます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29	0	0	1	利用後の報告の際に子供の現在の状況について情報交換しています。どの先生が担当でもしっかりお話ができるのでありがたいです。	ありがとうございます。
保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	0	0	1	定期面談もありますし、個別相談も利用しています。	ありがとうございます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	0	0	0	伸びたこと、難しかったことも前向きに話して下さい。子供の気持ちも受け止めて下さるので安心して利用できています。	ありがとうございます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	5	2	11	保護者同士の交流はありませんが、兄弟で集團プログラムやイベントに参加して一緒に楽しんでいます。	ありがとうございます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	0	0	2	悩んでいたことを少しお話ししたら、個別相談の説明や利用をおすすめしてもらいました。後日に時間を設定してもらいじっくり相談できました。相談後は迅速に支援に入れ込んで対応していただきました。	今後も家族支援等を活用して、適宜情報共有をさせていただきたいと思っています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	0	0	2	先生の間で情報がしっかりと共有されているのを感じます。どの先生とお話ししても、子供も私も伝えやすいなと思います。	ありがとうございます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	30	0	1	0	各SNSやLINEでも連絡体制はしっかりできていると思います。	ありがとうございます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	1	0	2		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	1	0	8	避難場所や緊急時の説明がありました。子供は避難訓練もしています。訓練についてはよくわからない。	現在は、月1回の訓練実施となっております。訓練回数を増やし、多くの利用者様に訓練に参加していただけるよう計画していきたいと思っています。また、通信などでも様子を伝えていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	2	0	11	定期的に避難訓練が行われているようです。週1回の利用のためわかりません。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	0	0	3		
非常時等の対応	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	1	0	4		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	30	1	0	0	毎回楽しく通っています。先生との会話も楽しみなようです。	ありがとうございます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	1	0	1	毎回笑顔で入口へ走って行くので楽しみなのが伝わります。楽しく通わせてもらっています毎回とても楽しみにしています。自宅近くにもあつた毎日通いたいと言っています。送迎等の問題で予定が立てられず、もどかしい部分があります。	ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	1	0	1	いつも息子が楽しみに通っています。ありがとうございます。どの先生も毎回笑顔で明るく対応して下さるのでこちらも元気をもらっています。家でも参考にしながら楽しめるような支援が多いので、工夫に感心しています。子供の興味や好きなことを尊重してくださるので、息子はクラゼミさんに通うのをとても楽しみにしています。活動の様子も細かく報告してくださるので安心してお願いができますし寄り添った対応をしてくださるので感謝しています。	ありがとうございます。

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」北上上野町校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者一人ひとりに応じたプログラムをそれぞれの職員の持ち味のもと、立案考案しながら、職員間でも一人ひとりの課題を把握し、同じ意識で支援にあたっています。	常日頃から利用者の情報共有を行い、話し合う場を作りながら、個々に合わせた活動で、今、利用者が必要なこと、興味のあることを行えるようにしています。	引き続き、職員間での利用者の様子の共有、保護者とのやり取りの内容を活発に話し合えるよう会議の場を設けていきます。
2	イベントを通し、季節によって戸外での活動や異年齢での交流する機会を設けています。	定期的開催し、異年齢でのやり取りや関わりを学びながらも、個別では見えない利用者の姿を把握し次の課題を見据えています。	定期的な開催の頻度を増やし、積極的な参加を促していきます。また、集団での様子を保護者の方に伝えることで、課題の把握と成長の様子を共有できるようにしていきます。
3	座学からちょっとした運動まで行える環境となっており、バリエーションにとんだ、個々に応じた環境調整をしています。	パーテーションで室内を区切り、集中できる環境を整えたり、動くときには机等の配置を変えて、広い空間を保持できるよう環境を整えています。	片付けや、用具の選定などを行い、必要なもの、不要なものなどを常に見定めながら整理整頓を行っていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方々との交流が乏しいです。	SNSやパンフレットを通して、地域の方々への周知を行うが、交流できるイベント等を開催したことがないので、交流する機会がない状況です。	イベント内容を検討し、地域の方さんにも参加いただける内容のイベント開催を企画していきたいと思います。
2	個別支援が基礎となるため年齢によって集団活動を取り入れることが来ておらず、集団活動への課題を持っている利用者への適切なアプローチの難しさがあります。	個別支援に重きを置いていることや送迎が保護者メインとなるため、利用時間に差ができ、同年代での集まる場を設けることの難しさがあります。	イベントや同年代での小集団活動の頻度を増やしつつ、内容も年齢や利用者のねらいに応じて取り組んでいきたいと思います。
3	現在たくさんの利用者に利用いただいております、土曜日などの特定の曜日によってはご予約が取りづらくなってしまう時間帯もございます。	たくさんの利用者にご契約をいただき、皆様に使っていただいております。そのため、希望する時間帯や曜日が偏ってしまう現状があります。	本当に必要な支援を利用者、保護者とともに考え、課題を把握し、次のステップに進めるよう、支援内容等を話し合っていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」北上上野町校	公表日	2026年	2月	14日
------	------------------------	-----	-------	----	-----

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		パーティションを使い、2部屋を4つにわけて多い時は4名を受け入れ支援を行っている。4名を受け入れるには、利用者のバランスや相性も考えなければならず、1部屋を分けることが難しい時もあり、部屋の数が多ければと感じることもある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基本1対1で支援に入れるようその日の職員の出勤に合わせて予約を制限したり、時間変更をお願いするなど利用者にもご協力をいただいている。時には児発管も補助に入り対応している。引き続き、1対1を基本とし、支援に集中できるよう予約時の確認を行っていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		職員が玄関の鍵の施錠を行うことを約束とし、常に玄関に出入りの際は職員が立てるよう全員で確認している。鍵の高さが通常の位置にあり、利用者が簡単に開けることができてしまうので、危険を感じることもある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃・消毒・喚起をこまめに定期的に行うよう心掛けていく。利用者が1日通してどの時間もある期間になると掃除機をかけるタイミングが難しいことがある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		空いている部屋は基本自由に使えるようになっている。安全の確保のために、利用者一人になることはないよう心がけている。利用者が多い時間などはどうしても部屋がいっぱいとなることもある。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員間で定期的に会議を行い、業務改善について話し合いを行っている。一人ひとりの職員の受け持っている業務を分担するにあたって、どのくらいの仕事量となっているかの把握が難しい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表からの声を全職員で受け止め、改善を求める声があった際には考えうる最善の改善案を話し合っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員同士での話し合いの会議を設けたり、管理者と職員による話し合いを行えるようにしながら、改善できる部分、納得していただけるよう突き詰めて話すなどの話し合いを行っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	書式を伴うしっかりしたものは行っていないが、社内内部監査等の機会にしっかりと現状を把握、評価していただいている。場合によっては、第三者による評価も検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部監査・外部監査に定期的に参加する機会を設け、それぞれの職員による技術向上を目指している。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムが固定化しないよう、個々の特性やニーズに応じて、作成している。支援プログラムの公表が義務化されており、都道府県に届け出を提出している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		モニタリングを必須とし、保護者に来所いただいてお話をする場を絶対に設けていくことで、アセスメントを適切に行いながら、課題やニーズにこたえられるようにしている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		会議をおこなったり、モニタリング作成前に支援をしている職員から様子を伺うなどして、全員で利用児に関わるすべてのことを把握できるよう努めている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画を立て、会議をおこなったり、関係機関連携などでの情報を常に共有できるようにしている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメント表を基に日々の行動観察を行い、状況確認をしている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿って計画を作成し、ねらい及び支援内容を踏まえてプログラムを作成している。また、ガイドラインに沿った計画の中でも、利用者のニーズや課題に応えられるよう支援内容を設定している。



援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		前回の支援内容や様子を共有し、プログラムを立案している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員それぞれの持ち味を出しながら、個々の利用者に合わせたプログラムを作成し、様子に合わせて話し合いをしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		状況やニーズに合わせて適宜個別支援と小集団支援を行いながら、支援を進めている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援の時間によっては前に打ち合わせをすることが難しい場合もあるが、時間を見つけ、打ち合わせの時間を作り行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		18時枠の支援終了後は終業時間となってしまうことがほとんどであるが、後日話し合いをしたり、システム上で全職員が把握できるようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援後規定に基づき記録が書いているかの確認作業を行うとともに、支援の内容にて気になる点などはその都度話し合いをできるようにしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		長くても6か月に1度はモニタリング面談を行い、計画の見直し、現状把握を保護者とともに行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		できる限り、児発管、指導員の2名体制で参加させていただき、それぞれの視点で利用者のことを会議の場で伝えられるようにしている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		通われている園との情報共有を目的に、保護者の了承が出たご家庭との連携をしながら、園での様子を見学させていただいている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		卒業を視野に入れた支援を心掛け、通われている園との情報共有の中で、集団だからこそ身につく領域と、個別だからこそ伸ばせる領域を相互理解できる場としての話し合いを行い、相互理解に努めている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		相談員、保護者を通じて、支援の様子などを伝えられるよう、希望によっては支援経過報告書の提出も行っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		発達検査やことばの教室にて、参加する機会をいただきながら、併用している子の情報共有をしたり、支援の助言をいただく機会を作っている。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	事業所としては交流をする場を設けることはできていないが、今後機会があれば作っていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後のフィードバックの際などに支援内容だけでなく、近況を聞くようにしている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		25年度は北上校と合同でペアトレを開催。上野町校職員でも受講した職員もいることから、今後定期的に行っていく予定。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧に伝え、理解できるよう努めている。

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者と現状の把握、職員から見た現状などを加味して最善の利益を優先考慮し、作成するとともに、保護者へ丁寧な説明を心がけている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		説明を丁寧に行い、同意を得てサインをいただいている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて、ご希望があった際には日程調整を速やかに行い、適宜対応している。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会や父母の会といった活動は多くはできていないが、ペアトレの開催や可能な限りきょうだいを含めたイベント開催などを行っている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		必要に応じて、ご希望があった際には日程調整を速やかに行い、適宜対応している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的な更新を進めている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		十分留意し行っている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		それぞれに合った言い方や伝える方法を模索しながら行っている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域住民を招待する機会を設けてはいないが、きょうだい児などは機会を
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルをもとに訓練を行い、行っていることも周知している。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に訓練を行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		来所時には体調について確認しながら、状況を把握している。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		飲食をする機会がある際には保護者に伝え、アレルギーなどのチェックを進めている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画をもとに訓練や研修への参加をしている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画の周知をしている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事項が発生した際には、書式への記入とともに、全員で対策を検討する機会を設けている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止にかかる研修や教室内での行動での虐待行動について話し合う場を設けている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		支援計画に記載し、契約時にお伝えしている。